

衛研第2 - 12号
平成29年 6月21日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 24 週（平成 29 年 6 月 12 日～平成 29 年 6 月 18 日）

今週の注目される疾患

図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 3 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、A 型肝炎 1 人、レジオネラ症 3 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 4 人、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 4 人、梅毒 6 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**咽頭結膜熱**(1.28 1.37：図 1)の定点当たり報告数は 4 週連続で増加し、過去 4 年で最も多い。保健所別では、全保健所管内から報告があった。また、越谷市(2.75)、春日部(2.50)、坂戸(2.17)保健所管内で報告が多い。年齢階級別では、1 歳からの報告が最も多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(4.89 5.11：図 2)の定点当たり報告数は前週よりわずかに増加した。保健所別では、熊谷(6.56 9.56)保健所管内で大きく増加し、川口(6.76)、川越市(6.63)、朝霞(6.58)、鴻巣(6.42)保健所管内で報告が多い。年齢階級別では、3～8 歳で全体の 72.9%を占めている。眼科定点報告対象疾患である**流行性角結膜炎**(1.53 1.13：図 3)の定点当たり報告数は減少したが、過去 4 年の同時期と比較し多い状況が続いている。**手足口病**(0.50 0.78：図 4)及び**ヘルパンギーナ**(0.19 0.28)の定点当たり報告数は前週より増加した。前者は西日本で流行が始まっているため今後の動向に注意が必要である。その他の眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 5 人(前週 1 人)の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**細菌性髄膜炎** 1 人、**無菌性髄膜炎** 1 人、**クラミジア肺炎** 1 人、**感染性胃腸炎(口タウウイルス)** 1 人、**インフルエンザ(入院)** 1 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3 人（類型 患者 3 人、 血清型 O157 2 人、O26 1 人）
四類感染症	E 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	A 型肝炎	1 人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	3 人（病型 肺炎型 3 人）
五類感染症	アメーバ赤痢	4 人（病型 腸管アメーバ症 3 人、腸管外アメーバ症 1 人）
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 人（病型 孤発性）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人（血清群 G 群）
	侵襲性肺炎球菌感染症	4 人
	梅毒	6 人（病型 早期顕症 期 1 人、早期顕症 期 2 人、 晩期顕症 2 人、無症状病原体保有者 1 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 咽頭結膜熱

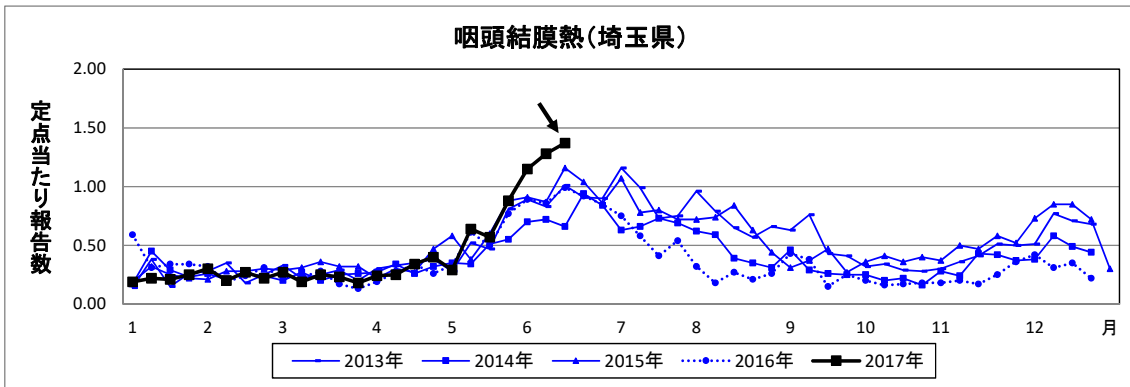


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

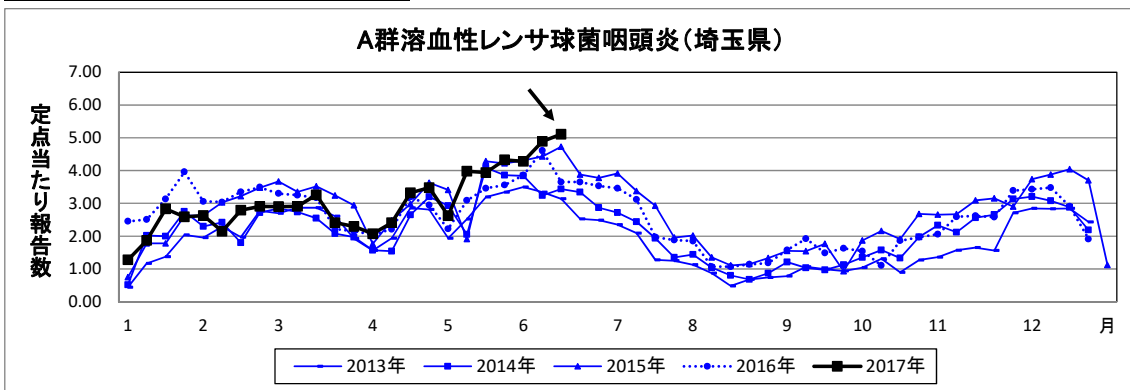


図3 流行性角結膜炎

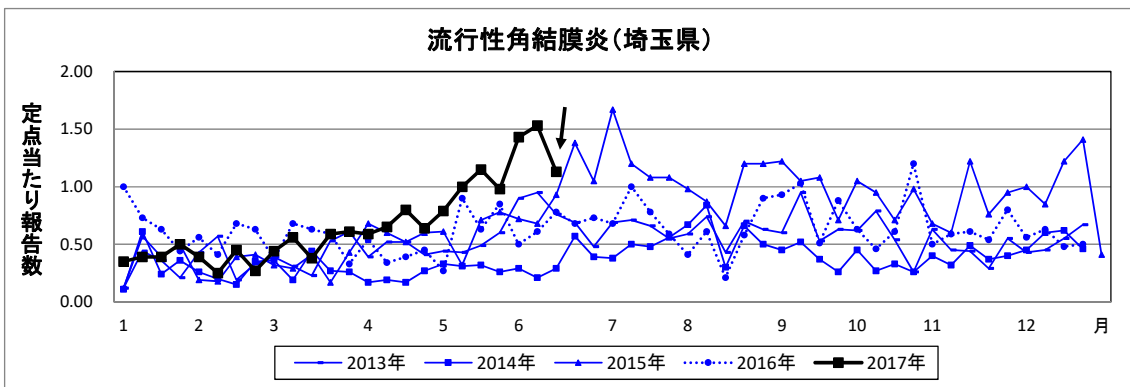
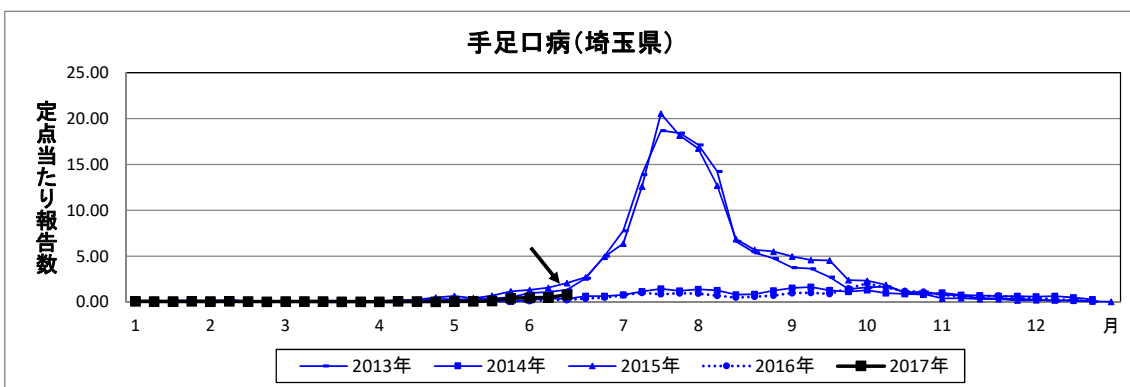


図4 手足口病



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第24週)

(2017年6月20日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢		3	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	37			
四類感染症					
E型肝炎	1	10	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	9	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	24
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		7	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	4	28	侵襲性肺炎球菌感染症	4	78
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘*		9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		29	先天性風しん症候群		
急性脳炎		23	梅毒	6	95
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		17	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		6
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		8	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		4
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査週情報		報告患者数										保健所別		平成29年6月12日～平成29年6月18日									
保健所	感染症発生動向調査週情報	報告患者数										保健所別		平成29年6月12日～平成29年6月18日									
		インフルエンザ # 1	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(口吐ウイルス)	インフルエンザ(入院)				
県	報告数	20	37	216	807	1,106	93	123	26	114	1	44	58	5	45	1	1	1	1				
川	報告数	0.08	0.23	1.37	5.11	7.00	0.59	0.78	0.16	0.72	0.01	0.28	0.37	0.13	1.13	0.10	0.10	0.10	0.10				
朝	報告数	1	17	33	115	193	8	12	-	14	-	2	-	1	9	*	*	*	*				
朝	報告数	0.04	1.00	1.94	6.76	11.35	0.47	0.71	-	0.82	-	0.12	-	0.20	1.80	*	*	*	*				
朝	報告数	5	6	23	79	128	8	23	3	12	-	7	5	-	3	-	-	-	-				
朝	報告数	0.28	0.50	1.92	6.58	10.67	0.67	1.92	0.25	1.00	-	0.58	0.42	-	0.75	-	-	-	-				
朝	報告数	-	1	14	77	43	6	5	3	8	-	-	7	2	1	*	*	*	*				
朝	報告数	-	0.08	1.17	6.42	3.58	0.50	0.42	0.25	0.67	-	-	0.58	0.67	0.33	*	*	*	*				
朝	報告数	-	-	1	14	25	1	3	2	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-				
朝	報告数	-	-	0.20	2.80	5.00	0.20	0.60	0.40	-	0.20	0.60	-	-	-	-	-	-	-				
朝	報告数	-	-	2	4	6	-	-	-	-	-	1	*	-	-	-	-	-	-				
朝	報告数	-	-	0.67	1.33	2.00	-	-	-	-	-	0.33	*	-	-	-	-	-	-				
朝	報告数	2	2	5	13	6	1	1	11	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-				
朝	報告数	0.29	0.50	1.25	3.25	1.50	0.25	0.25	2.75	0.25	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-				
朝	報告数	2	2	5	86	72	2	12	2	5	-	2	3	-	3	-	-	-	-				
朝	報告数	0.14	0.22	0.56	9.56	8.00	0.22	1.33	0.22	0.56	-	0.22	0.33	-	1.50	-	-	-	-				
朝	報告数	5	-	1	7	3	7	1	2	3	-	-	1	-	-	*	*	*	*				
朝	報告数	0.50	-	0.17	1.17	0.50	1.17	0.17	0.33	0.50	-	-	0.17	-	-	*	*	*	*				
朝	報告数	-	-	15	36	64	5	3	-	2	-	3	1	-	-	*	*	*	*				
朝	報告数	-	-	2.50	6.00	10.67	0.83	0.50	-	0.33	-	0.50	0.17	-	-	*	*	*	*				
朝	報告数	1	3	11	30	49	6	1	-	5	-	8	3	-	1	-	-	-	-				
朝	報告数	0.07	0.33	1.22	3.33	5.44	0.67	0.11	-	0.56	-	0.89	0.33	-	0.50	-	-	-	-				
朝	報告数	-	-	13	11	51	3	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
朝	報告数	-	-	2.17	1.83	8.50	0.50	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
朝	報告数	1	1	12	42	85	8	9	1	7	-	-	2	1	-	*	*	*	*				
朝	報告数	0.06	0.09	1.09	3.82	7.73	0.73	0.82	0.09	0.64	-	-	0.18	0.33	-	*	*	*	*				
朝	報告数	-	3	27	71	75	18	31	1	10	-	7	8	1	15	-	-	-	-				
朝	報告数	-	0.20	1.80	4.73	5.00	1.20	2.07	0.07	0.67	-	0.47	0.53	0.20	3.00	-	-	-	-				
朝	報告数	1	1	1	53	36	5	11	-	7	-	2	6	-	-	*	*	*	*				
朝	報告数	0.08	0.13	0.13	6.63	4.50	0.63	1.38	-	0.88	-	0.25	0.75	-	-	*	*	*	*				
朝	報告数	-	1	22	38	13	3	5	-	4	-	5	4	-	1	-	-	-	-				
朝	報告数	-	0.13	2.75	4.75	1.63	0.38	0.63	-	0.50	-	0.63	0.50	-	0.50	-	-	-	-				
朝	報告数	2	-	31	131	257	12	6	1	32	1	7	14	-	10	1	1	1	1				
朝	報告数	0.05	-	1.15	4.85	9.52	0.44	0.22	0.04	1.19	0.04	0.26	0.52	-	1.25	1.00	1.00	1.00	1.00				

6月 20日 13:00集計

2 真菌性を含む

3 オウム病を除く

1 鳥インフルエンザを除く

(- : 0.00)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第24週 平成29年6月12日～平成29年6月18日)

	年齢別																			
	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	20	-	1	-	-	1	-	4	1	-	-	7	5	-	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	37	3	10	17	2	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	216	1	14	72	17	36	19	31	11	4	6	-	3	1	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	807	-	3	24	34	78	121	104	113	98	74	51	80	3	24	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,106	4	72	185	106	154	118	93	63	41	44	49	89	15	73	-	-	-	-	-
水痘	93	-	4	8	2	4	4	8	15	12	16	10	10	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	123	1	16	39	21	16	13	6	5	-	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	26	-	-	1	3	5	3	3	5	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-
突発性発しん	114	1	29	70	11	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	44	1	2	11	9	5	4	3	2	1	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	58	-	-	-	3	6	9	9	7	12	4	3	5	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	5	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-
流行性角結膜炎	45	1	-	3	-	2	1	1	-	-	2	-	3	2	1	15	5	2	4	3
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 22 週

(5月29日～6月4日)

平成29年6月21日

インフルエンザの定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.72)、熊本県(1.85)、岩手県(1.70)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は34例と前週と比較して減少した。都道府県別では17道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(15例)、10代(2例)、20代(2例)、30代(1例)、60代(2例)、70代(2例)、80歳以上(7例)であった。

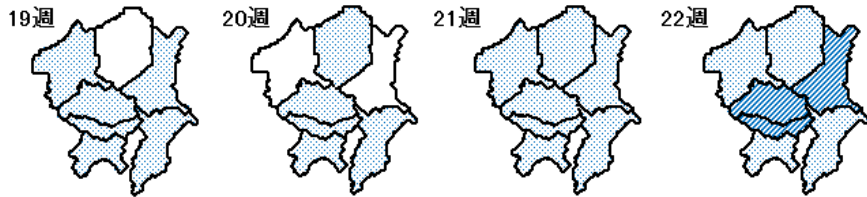
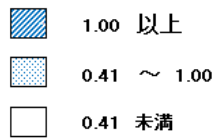
RSウイルス感染症の報告数は726例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山梨県(3.29)、北海道(2.02)、奈良県(1.53)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(9.89)、山形県(6.93)、大分県(5.42)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(13.08)、富山県(10.62)、福井県(10.50)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.26)、福島県(1.09)、山形県(0.90)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(6.30)、宮崎県(5.17)、香川県(4.50)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.00)、群馬県(0.40)、福島県(0.30)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長野県(2.48)、愛媛県(2.00)、鹿児島県(2.00)、山口県(1.40)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(0.88)、青森県(0.67)、栃木県(0.57)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。36都道府県から145例報告があり、年齢別では0歳(12例)、1～4歳(95例)、5～9歳(32例)、10代(2例)、20代(1例)、30代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、埼玉県(1.15)、東京都(1.09)、茨城県(1.08)からの報告が多い。

咽頭結膜熱



平成29年 22週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 2,100 定点当たり 0.42	304 0.20	13 0.11	9 0.12	16 0.17	77 0.30	77 0.36	48 0.12	64 0.19
RSウイルス感染症	報告数 726 定点当たり 0.23	171 0.18	9 0.12	15 0.31	8 0.14	28 0.17	21 0.16	63 0.24	27 0.13
咽頭結膜熱	報告数 2,996 定点当たり 0.95	907 0.95	81 1.08	42 0.88	38 0.66	187 1.15	129 0.96	286 1.09	144 0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 10,540 定点当たり 3.33	3,533 3.70	261 3.48	96 2.00	240 4.14	697 4.28	577 4.27	856 3.27	806 3.75
感染性胃腸炎	報告数 21,334 定点当たり 6.74	6,177 6.46	368 4.91	120 2.50	372 6.41	1,259 7.72	812 6.01	1,918 7.32	1,328 6.18
水痘	報告数 1,464 定点当たり 0.46	541 0.57	26 0.35	28 0.58	20 0.34	115 0.71	86 0.64	134 0.51	132 0.61
手足口病	報告数 4,246 定点当たり 1.34	535 0.56	16 0.21	14 0.29	10 0.17	79 0.48	65 0.48	220 0.84	131 0.61
伝染性紅斑	報告数 305 定点当たり 0.10	121 0.13	6 0.08	1 0.02	23 0.40	26 0.16	10 0.07	41 0.16	14 0.07
突発性発しん	報告数 1,790 定点当たり 0.57	638 0.67	19 0.25	23 0.48	26 0.45	132 0.81	94 0.70	199 0.76	145 0.67
百日咳	報告数 27 定点当たり 0.01	1 0.00	-	-	-	-	-	1 0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数 1,115 定点当たり 0.35	159 0.17	8 0.11	4 0.08	7 0.12	26 0.16	55 0.41	39 0.15	20 0.09
流行性耳下腺炎	報告数 1,779 定点当たり 0.56	365 0.38	31 0.41	24 0.50	51 0.88	79 0.48	46 0.34	65 0.25	69 0.32
急性出血性結膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	3 0.01	-	-	-	2 0.05	-	-	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 594 定点当たり 0.85	267 1.30	18 1.06	11 0.92	5 0.36	57 1.43	38 1.12	34 0.87	104 2.08
細菌性髄膜炎 #2	報告数 10 定点当たり 0.02	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 21 定点当たり 0.04	2 0.02	-	-	-	-	1 0.11	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 119 定点当たり 0.25	17 0.21	-	4 0.57	1 0.13	5 0.50	4 0.44	3 0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数 6 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 145 定点当たり 0.30	17 0.21	3 0.23	-	2 0.25	5 0.50	1 0.11	3 0.12	3 0.33

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2017年

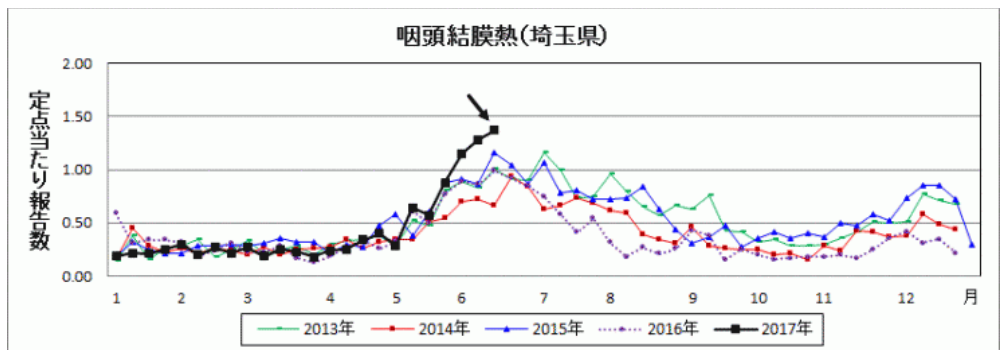
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)

感染症の流行状況 2017年 第24週

2017年第24週（平成29年6月12日～6月18日）の要点 平成29年6月21日

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、4週続けて増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★
感染性胃腸炎	↓	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	↑	★
手足口病	↑	★	流行性角結膜炎	↓	★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン